

平成29年3月22日
九州電力株式会社

世界最大規模 インドネシア・サルーラ地熱 I P P プロジェクトの 初号機営業運転開始について

当社は世界最大規模のサルーラ地熱 I P P プロジェクト（以下、本プロジェクト）に参加しておりますが、平成29年3月18日、本プロジェクトの初号機（出力105.9MW）が営業運転を開始しましたので、お知らせします。

本プロジェクトは、当社及び出資パートナー^{※1}が、サルーラオペレーションズ社^{※2}を通じて地熱開発を行っているもので、当社及び西日本技術開発株式会社等の九電グループが保有する地熱発電技術を活用して開発を進めています。

具体的には、インドネシア北スマトラ州サルーラ地区の地熱鉱区を開発するとともに、本プロジェクト合計で出力320.8MWの地熱発電所を建設し、30年間にわたってインドネシア国有電力会社に売電するものです。

なお、本件は、単一開発契約としては世界最大規模の地熱発電 I P P（独立発電事業）です。

※1 伊藤忠商事(株)、国際石油開発帝石(株)、メドコ・パワー・インドネシア社（インドネシア）、
オーマット・テクノロジーズ社（アメリカ）

※2 当社及び出資パートナーの子会社が共同で出資する事業会社

引き続き、第2号機（平成29年予定）、第3号機（平成30年予定）の営業運転開始に向けて、安全・防災はもとより、環境保全に万全を期して建設工事を継続します。また、地域社会との共生に取り組むとともに、関係法令とその精神を尊重し、誠実かつ公正な運営に努めます。

当社は、国内の地熱開発を通して培った地熱発電技術を活かし、地球温暖化対策及びインドネシアの電力の安定供給に貢献します。

また、電力需要の拡大が見込まれるアジアを中心に、これまで注力してきたガス火力に加え、地熱及び石炭火力を重点分野として、積極的に優良案件の開発に取り組み、九電グループの価値向上を目指してまいります。

〔主な経緯〕

- 平成19年10月 本プロジェクトへの参加権益を取得
- 平成25年4月 事業会社を通じてインドネシア国有電力会社と売電契約を締結
- 平成26年3月 事業会社を通じて銀行団と融資契約を締結
- 平成26年5月 本格工事開始
- 平成29年3月 初号機営業運転開始

〔プロジェクトの概要〕

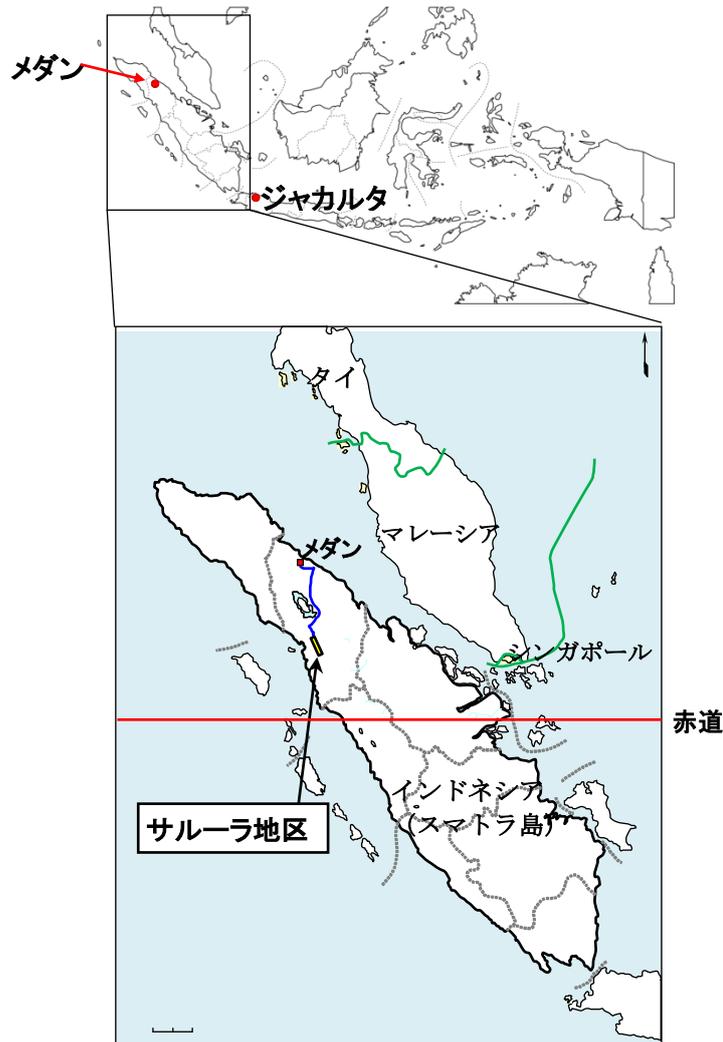
項目	内容
建設予定地	インドネシア 北スマトラ州 サルーラ地区 (インドネシア第4の都市メダンから南へ約350km)
事業内容	地熱資源開発から発電までの一貫開発 30年間にわたりインドネシア国有電力会社へ売電
出力	320.8 MW (3系列)
出資者 (各子会社を通じて出資)	当社 25% 伊藤忠商事株式会社 25% 国際石油開発帝石株式会社 ^{※1} 18.25% PT Medco Power Indonesia ^{※2} 19% Ormat Technologies, Inc. ^{※3} 12.75%
工期	平成26年5月着工 平成30年完工予定

※1 平成27年に国際石油開発帝石が100%子会社を通じ、Medco子会社の49%の株式を取得し、本プロジェクトに参画

※2 インドネシア最大手の民間資本総合エネルギー企業であるPT Medco Energi Internasional Tbk 他を親会社とする電力事業会社

※3 地熱発電に関する開発・主要機器製造・建設・事業投資・運営を一貫して取り組む米国企業

〔発電所建設地〕



以上

